

## ～2歳児～

【生活のねらい】衣服、靴の左右を意識してみる



「友だち」という存在が子どもたちにとってのエネルギーとなっています。以前は散歩の際になんとか友だちと手を繋いでいましたが、行く前に「今日一緒に繋ごう？」と約束をしたり、積極的に声を掛ける姿が見られるようになりました。また、一つの遊びを子どもたち同士で楽しむ姿も見られます。

様々な関わりを通して多くの経験をしてきたからこそ、より成長を感じます。

生活面では朝の支度を保育者と一緒にやってみています。最初から最後まで子どもの力で言うことだけに目を向けるのではなく、身の回りのことをしようとする姿や、部分的にでも自分でやることのできた過程を子どもたちの自信にしていけたらと思っています。

困ったときや手伝ってほしい時には保育者になにかしらの表現で伝える力も身に付いてきています。これらの自信を進級への喜びや期待に繋げていきたいです！

## ～3歳児～

【生活のねらい】相手の気持ちを知ろうとする。  
周りの友だちの様子や表情に気づく。



2月は文化祭もあり、毎日ワクワクした様子の子どもたち。みんなで協力しながらペンキ屋さんになったり、テープ貼り屋さんになって、土台を作った動物たちはいかがでしたか？準備するたびに「早くママとパパを連れてきたい！」と言っていた子どもたちが、当日キラキラとした表情を浮かべている姿を見れてとてもうれしかったです。

2月もあっという間に過ぎ、今年度も今月で最後となりました。

残り的一か月は、少しずつ進級を意識しながらも、楽しく過ごしていきたいと思います！

## ～4歳児～

【生活のねらい】一人ひとりが成長を認められ、進級することへ期待感を持ち、身の回りのことを主体的に行う。



文化祭が終わった後、思い出を絵で表している子ども、楽しかった事を沢山話してくれる子ども。嬉しい、楽しい気持ちを伝える表現方法も人それぞれですね。やりたい事も人それぞれ。4つの中から選べたからこそ子ども達が主体的に取り組めるものになったのではと思います。みんなで意見を出し合い、創意工夫を凝らし、それを表現した文化祭でした。「ありがとうございました」と言った後の子ども達の笑顔は忘れられません。しかし「太鼓じゃなかったら合奏はやらない。」「ファッションショーやってみたかったけど恥ずかしくて選ばなかったの。」なんて言っている子どももいました。自分で考えて「やらない」という選択をしていますが、正直な気持ちを伝えてくれ嬉しく思います。文化祭が、終わったから綺麗さっぱりおしまいという事ではなく、衣装を作りたい子どもがいたら今後も作ったり、楽器を触ったりと少し余韻も楽しみたいなと思います。

5歳児にリードしてもらい背中を追っていた4歳児も4月からは年長児となります。ケンカも遊びも全力投球のみんながどんな年長さんになるか？楽しみです！

## ～5歳児～

【生活のねらい】自らの成長に自信を持ち、進学に期待を持つ。  
友だちとの時間を大切にし、関わりを深めながら遊ぶ。



皆の知恵や力を出し合い、協力して作り上げてきた文化祭が終わりました。今回は初のステージがある事で、去年の文化祭とは趣が違いましたが、4.5歳合同でした事によってより多くのチャレンジが出来ました。それぞれがやりたい事を考えて、それには何が必要か？自分が何をすればいいか？を自ら選択して自主的に行動する事が出来ました。幼児期からこの「自主的」に行動する事が出来るなんて本当に素敵な事ですね。この1年「主体的保育」を大切にきて、最後に多くの場面で子ども達が主体的に動く姿を見る事が出来て、とても嬉しい気持ちになりました。楽器の名前すら知らなかった子ども達が、楽しそうに歌に合わせて合奏する迄に至った事もチャレンジして良かったと心から感じました。

ラスト1ヶ月は、保育園生活の集大成として、やりたい事を出来るだけして、思い残す事無く卒園に向けて駆け抜けたと思っています。